

あなたの挑戦を全力でサポートする 実力ある講師陣

HITACHI
Inspire the Next

AWSの活用拡大を阻む、経験・ナレッジ・技術者不足。
そんな“スキルの壁”を乗り越え、AWSビジネスへの挑戦に踏み出す組織やひとを、
知識とノウハウの両面から全力でサポート！

AWS認定講師に対する最高評価
「AWS Authorized Instructor Champion」に
当社講師が認定



AWSを学ぶ方には必携の書
1万人以上に活用される
AWS書籍を執筆



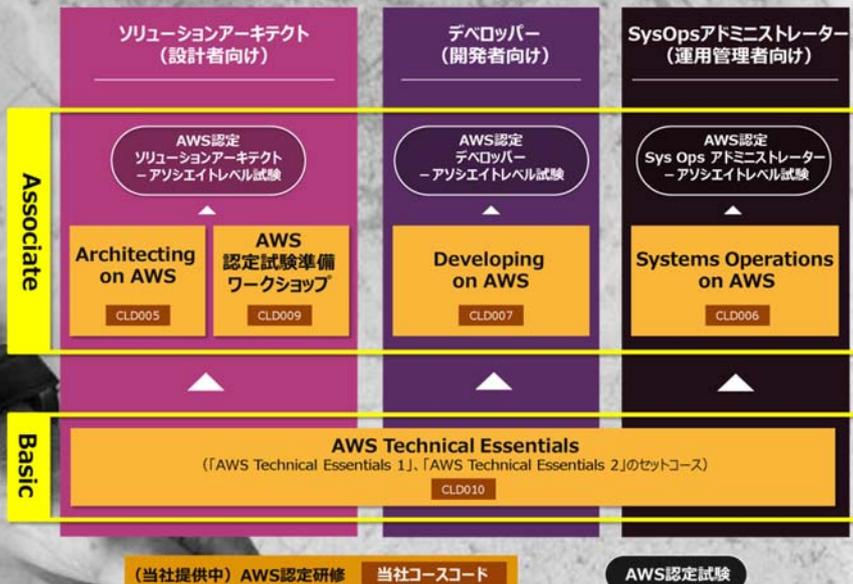
日立グループ企業 60社以上
のべ3,000人を越える育成実績



株式会社 日立インフォメーションアカデミー

AWS 認定研修

コースラインアップ & コース概要



AWS Technical Essentials

AWSの特徴やコアサービスを学習し、コアサービスを利用して
高い可用性を持つWebシステムを構築します。
構築したWebシステムの性能監視とログの収集やバックアップなどを
実施し、AWS上のシステムの基本的な運用管理を学習します。

Architecting on AWS

AWSのサービスを使用してシステムを設計（デザイン）し、
構築する方法を学習します。
また、スケーラビリティ（伸縮自在性）、セキュリティ、および
高可用性のためのベストプラクティスについて学習します。

AWS 認定試験準備ワークショップ ソリューションアーキテクト-アソシエイト

AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイトの受験に向け、
問題の形式や出題される分野などを紹介します。

Developing on AWS

セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースの
アプリケーションを設計、構築する方法を学習します。
AWSコードライブラリ、SDK、IDEツールキットの使い方も学習し、
AWSプラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を
学習します。

Systems Operations on AWS

AWSプラットフォームにおいて可用性が高くスケーラブルな
インフラストラクチャを運用する方法を学習します。
インフラストラクチャのプロビジョニング、アプリケーションのデプロイ、
コスト配分の把握、監視の活用、バックアップの作成などについて
学習します。

AWS Technical Essentials

2日間

コースコード：CLD010

受講料(税込) ¥151,200 (税込)

開催日程 6/28-29, 7/19-20, 9/3-4

コース内容

1. AWSの紹介と歴史
2. AWSインフラストラクチャ：コンピューティング、ストレージ、およびネットワーク
3. AWSのセキュリティ、アイデンティティ、およびアクセス管理
4. AWSのデータベース
5. AWS管理ツール
6. EC2とRDSで最小構成のブログサイトを構築する
7. ELBとRDSのMulti-AZ構成およびS3を使用して高い可用性のブログサイトを構築する
8. CloudWatchとCloudWatch Logsを使用して性能の監視およびログの収集を実現する
9. EC2とRDSのスケール変更とEBSボリュームサイズの変更
10. Auto Scalingによるスケラビリティの実現
11. EC2およびRDSのバックアップの取得とリカバリ

このコースのココがおススメ！

たとえば「ブログサイト」にAWSサービスを活用する。すると、たとえ障害が発生してもシステムが落ちることなく、投稿したブログ記事や画像データが消失することはありません。この可用性がAWSクラウドならでは！このコースで体感してみましょう。

コース詳細 & おすすめポイント

開催日程や場所など、**カスタマイズのご相談**も承ります。

設計者向け

Architecting on AWS

3日間

コースコード：CLD005

受講料(税込) ¥226,800 (税込)

開催日程 6/13-15, 7/23-25, 9/12-14

コース内容

1. グローバルインフラストラクチャ活用
2. クラウドへのオンプレミス拡張
3. クラウドでのコンピューティング
4. ストレージサブシステムの設計
5. 分散型環境
6. データストアの選択
7. ウェブスケールのメディアホスティング設計
8. イベント駆動型のスケール
9. コードとしてのインフラストラクチャ
10. バッチ処理のオーケストレーション
11. 大規模な設計パターンの確認
12. 費用を考慮した設計
13. 高可用性および災害復旧の計画

このコースのココがおススメ！

「クラウドってサーバを持たなくなるだけ？」
「オンプレミスと同じスペックのサーバを同じ台数だけ用意して、アプリケーションを構築すればOK？」
そんなことはありません。クラウドならではの設計をすることで、コスト削減や可用性の向上が実現できます。このコースでAWSクラウドの設計の勘所を身につけましょう！

AWS認定試験準備ワークショップ ソリューションアーキテクト - アソシエイト

0.5日間

コースコード：CLD009

受講料(税込) ¥37,800 (税込)

開催日程 7/11, 9/25

コース内容

1. 試験センターに関する情報と心構え
2. 試験の概要と構造
3. 扱われる分野と問題の内訳
4. 扱われる分野のトピックと概念
5. 問題の構造と問題を解釈するポイント

このコースのココがおススメ！！

普段AWSを実務で利用していても、AWS認定の試験への合格となると…苦労していませんか？
このコースは、忙しいあなたの味方！「AWS認定ソリューションアーキテクト - アソシエイト」で狙われるポイントを半日でご紹介します！

開発者向け

Developing on AWS

3日間

コースコード：CLD007

受講料(税込) ¥226,800 (税込)

開催日程 8/6-8

コース内容

1. AWS コードリポジトリ、SDK、IDE ツールキットを使用する作業
2. AWS のセキュリティ機能の紹介
3. Amazon S3および Amazon DynamoDB を使用するためのサービスオブジェクトモデルと基礎的概念
4. Amazon SQSおよび Amazon SNSを利用するためのサービスオブジェクトモデルと基礎的概念
5. AWS のセキュリティ機能を活用
6. AWS Elastic Beanstalk を利用するアプリケーションデプロイメント
7. AWS のサービスを利用するためのベストプラクティス

このコースのココがおススメ！

「プログラムからAWSにデータをアップロードする方法は？」
「最近よく目にするサーバレスアーキテクチャって何だろう？」
このコースに答えがあります。AWS SDKを利用した実装演習を通してアプリケーション開発の勘所を修得してください！

運用管理者向け

Systems Operations on AWS

3日間

コースコード：CLD006

受講料(税込) ¥226,800 (税込)

開催日程 6/18-20

コース内容

1. AWSにおける運用管理とは
2. 仮想マシン(EC2)の運用管理
3. ネットワーク(VPC)の運用管理
4. ストレージの運用管理
5. AWSにおける監視
6. AWSにおけるコスト管理
7. EC2の自動初期設定
8. AWSにおける自動スケール
9. デプロイの自動化

このコースのココがおススメ！

AWS CLI (コマンド) を駆使したAWS上のシステムの運用管理。マネージメントコンソールで行っていた運用管理が劇的に変わります！ラボ(マンシミュ)では実際の運用管理に使えるスクリプトをご紹介します。このコースを、ぜひ日々の運用管理に活用してください！

たとえば、こんな組み合わせ



AWSの採用が広がり、AWS案件の引き合いや、自社システムのAWS移行などの話が今後増えそう。これまではオンプレミスのシステムばかりでAWSは触ったことがなく、AWSのサービスもまったく知らない。AWSの主要なサービスを実際に操作して概要を身につけたい。

オンプレミスからクラウドへのファーストステップ！

(eL) クラウドコンピューティング入門 (コースコード：UXE003) + AWS Technical Essentials (コースコード：CLD010)

大人気！



既存のオンプレミスのシステムをAWSに移行することになった。既存の構成をそのままAWSに移行しようとしたが、オンプレミスと同じ構成ではコスト削減もできず、可用性向上も難しそう。AWSならではのコスト削減や高可用性を実現する設計・構築のポイントを身につけたい。

AWSにシステムを構築するベストプラクティス！

AWS Technical Essentials (コースコード：CLD010) + Architecting on AWS (コースコード：CLD005)

大人気！



AWSのサービスを活用するアプリケーション開発することになった。AWSのサービスと、開発するアプリケーションの連携方法や、スケールするインフラに対する実装上の注意点がわからない。開発のファーストステップから実装のベストプラクティスを身につけたい！

AWSの各種サービスが提供するAPIを活用した、設計と実装の方法を学ぶ！

サーバサイドJavaプログラミング (Servlet/JSP編) (コースコード：OJJ018) + AWS Technical Essentials (コースコード：CLD010) + Developing on AWS (コースコード：CLD007)



マネージメントコンソールを使用した手動のAWS運用管理はもう限界！開発機10台を、毎朝8時に起動、毎晩18時に停止。毎日4時に本番機20台のバックアップを取得し、それぞれ最新の5世代分だけ残してあとのバックアップは削除する…。これらを自動化し、運用管理を効率化するコツを知りたい！

AWS上のシステムの運用管理に関する考え方と手法を学ぶ！

AWS Technical Essentials (コースコード：CLD010) + Systems Operations on AWS (コースコード：CLD006)

※ Amazon Web Services (AWS)、Amazon Web Servicesロゴ、およびアマゾン ウェブ サービスは、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※ Javaは、Oracle Corporationおよびその関連企業における登録商標または商標です。

※ 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

※ 受講料は、2018年5月時点の消費税率(8%)に基づいた税込金額を表記しています。税率等が変更になった場合は、講習会の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

お申し込み・お問い合わせ先

株式会社 日立インフォメーションアカデミー

〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD館 <https://www.hitachi-ia.co.jp/>

日立 研修



オープンコース へのお問い合わせ

東京研修センター

TEL 03-5471-8962

hitachi.ia

研修のカスタマイズ へのお問い合わせ

ソリューション推進部

TEL : 03-5471-8958
e-mail : hia-ml@hitachi-ia.co.jp